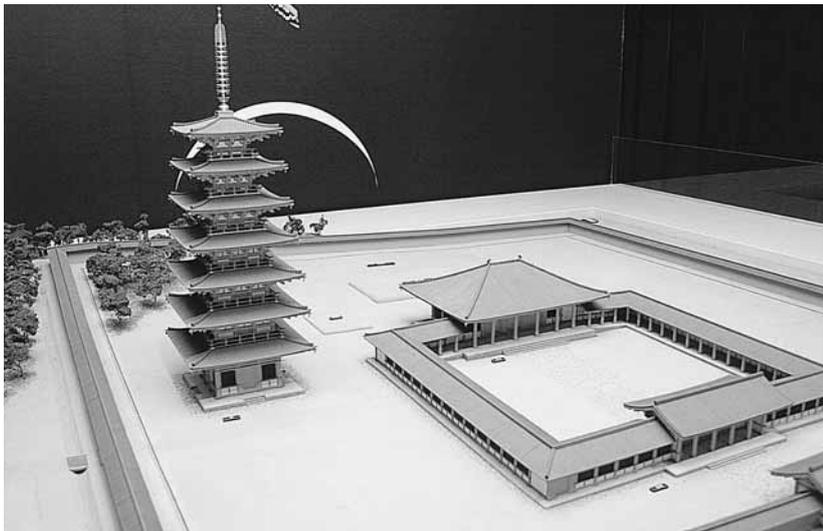


古代但馬の文化にふれる

但馬国府・国分寺館



奈良時代、国家の平和を願って全国各地に造らせたお寺「国分寺」。但馬では、日高町国分寺地内に建立され、寺域は東西約134メートル、南北約180メートルの規模であったと発掘調査によって確認されている

お出かけください
豊岡市内へ

施設拝見

vol. 1

豊岡市日高町には、今から1200年以上も前、但馬国の役所である国府と聖武天皇の詔で諸国に造られた国分寺が置かれていました。今年3月にオープンした但馬国府・国分寺館はこの両遺跡をメインテーマにした全国的にもユニークな施設です。館内には、全国の国分寺で初

めて見つかった木簡をはじめ多くの貴重な出土品が展示され、古代の但馬の文化にふれることができます。

木簡や墨書土器が 古代の但馬人の 暮らしを語る

但馬国府と国分寺跡の発掘調査では、文字資料がたくさん見つかっています。館内には、施設名や人名、地名などを書いた墨書土器や税や戸籍などを書き記した木簡などが多数展示されています。古代の歴史については文字による手がかりが極端に少なく、当時の暮らしがそのままわかるこつした出土物の価値は言葉



日高総合支所から神鍋方面に約300メートルの場所に位置する但馬国府・国分寺館

に尽くせないほどです。古代の但馬人が綴った文書をぜひご覧ください。

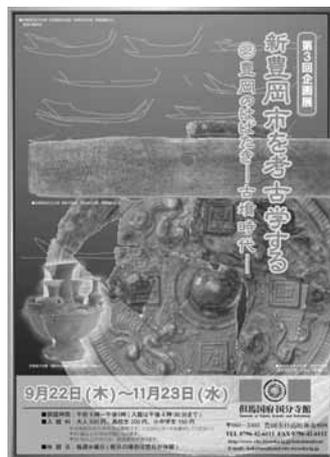
国府・国分寺を CG映像で復元

館内では、コンピ

ータググラフィック(CG)によって立体的に復元された但馬国府と国分寺の映像を見ることが出来ます。航空写真をもとに作られた地形の中に、発掘調査の結果や専門家の監修を受けて当時の建物を忠実に再現しています。特に但馬国分寺では、60メートルを超える高さがあったと推定される七重の塔が一目を引きます。但馬国府では、堀で囲まれた大型建物群などが再現されています。

歴史関係の書籍を 多数所蔵

総合学習室には、歴史に関する書籍を多数所蔵しています。子ども向けの歴史漫画から木簡などの専門的な書籍まで幅広い分野の書籍を保有し



企画展「新豊岡市を考古学する」を11月23日まで開催中

ています。展示品や収蔵品を検索できるパソコンも配置しています。学校の自由研究や歴史関係の調べものをするには絶好の場所となっています。落ち着いた環境の中で、歴史に思いをはせてみませんか。

但馬国府・国分寺館利用案内

所在地	豊岡市日高町祢布808
電話番号	42 - 6111
開館時間	9:00 ~ 17:00(入館は16:30まで)
休館日	毎週水曜日、年末年始(12/28 ~ 1/4)
入館料	大人 500円(400円) 高校生 200円(150円) 小・中学生 150円(100円) *()は20人以上の団体料金 *ココロカードを提示すれば県内の小・中学生は無料

*「施設拝見」のコーナーは不定期に掲載します。